

松 濤

第44号

2020年8月吉日

発行

千葉県立一宮商業高等学校
同窓会

千葉県長生郡一宮町一宮3287
千葉県立一宮商業高等学校内
TEL 0475(42)4520(代)
FAX 0475(42)7418
http://ichisho-dosokai.com/

ご挨拶



同窓会長

白井 和
(昭和34年度)

令和二年度も四ヶ月を過ぎ皆様に会報がお手元に届く頃には真夏の暑い日差しが注いでいるかと思えます。

会員皆様にはご健健で活躍の事とお慶び申し上げます。さて、今年はお承知の通り新型コロナウイルス感染症防止の為やむなく六月二十日開催の総会は書面決議とさせて頂きました。本会の本部であります母校も国の緊急事態宣言を受け五月末日迄休校となっております。かつて経験した事のないコロナ禍の状況が続いており皆様の日常生活に於ても不便を強いられている事と思えます。ご事業を経営されておられる皆様には何らかの影響が生じていないか心配致しております。母校は令和二年三月末の県教員の人事異動で、これまで大変お世話になりました渡部校長先生が定年によりご退職になりました。渡部校長先生は、母校の教諭・

教頭そして校長として通算十五年の長きに亘り母校の発展にご尽力されました。特に電算部の顧問では九年間で全国商業高等学校協会主催プログラミングコンテストで八度の最優秀賞に輝いております。加えて平成三十年文部科学省から全国八校の中に選ばれたスーパープロフェツショナルハイスクールの指定を受けた事により母校が当地域での存在感をより一層高める事となりました。この様に多方面に亘るご尽力に対し同窓会を代表して心からお礼申し上げます。

後任の常世田校長先生は、いすみ市岬町出身、平成二年教諭として本校にご勤務されておりその後、千葉商業高等学校、東金商業高等学校等の教頭を歴任され今年四月母校に赴任しました。母校の伝統や校風等についても良くご存知であります。母校発展の為に尽力頂けるものとご期待申し上げます。昨年六月会長に就任し早や一年となりました。昨年前半では、いすみ・茂原・首都圏の各支部総会に出席し会員皆様との懇親を深めて参りました。令和元年十二月には前、渡部校長先生の配慮により母校の全校生を対象とした講話「金融について」を行う機会を頂きました。今年三月以降は前記コロナ禍の中で残念な

ら同窓会行事の一部を取り止めと致しました。前、同窓会長の古市様の英断により「松濤」の配布方法を変更した事で業務委託費が大幅に削減され会計収支のバランスが保たれてきました。又、以前からの行事予定の中で母校初代校長、志田鉦太郎記念事業を具体的にどの様に進めるか検討して参りたいと存じます。

外房エリアは少子化が一段と進み十二才未満の就学児童の減少が続いております。此の様な環境下、母校は授業内容の改革に積極的に取り組んでおりその表われとなっている事がスーパープロフェツショナルハイスクールであります。

昨年十一月の一商祭で地元長生地域や東日本大震災の被災地の特産品を販売する波乗りアーケードを開催しビジネスの基本を体験すると共に地域の魅力を発信しています。商業高校としての独自の授業内容が他校では体験できない内容であり、これが中学生に受け入れられるのであります。この事は校長先生を始めとする諸先生方が地域に貢献できる人材を如何に育て輩出して行くかを真剣に考え実践されているからであります。何と言っても同窓会は母校あつてのものであります。中学生の減少が続いている中にも母校は一度も定員割れが無い事は母校が地域の方々から商業高校として信頼されている証左であると言えます。

今後共、同窓会として会員の親睦と母校発展の為、微力ですが協力を続けて参りたいと存じます。結びに当たり四支部の益々のご発展と会員皆様のご健勝をご祈念申し上げます。挨拶と致します。

伝統の継承



校長

常世田信幸

一宮商業高等学校同窓会の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご支援を賜り、心から感謝申し上げます。この度の人事異動で、東金商業高等学校から校長として着任しました常世田と申します。創立百周年を数年後に迎える歴史と伝統のある本校に勤務できることを光榮に存じます。前任者同様によるしくお願いいたします。

私は平成二年から十一年間、本校に勤務しており、昨年度末に退職されました渡部前校長とともに電算部の顧問をしておりました。プロコン(プログラミングコンテスト)の指導に力を注ぎ、最優秀賞を目指して日夜活動しておりました。

本校に着任した時に、校門から格技館を見るとプロコン四十年連続入賞という横断幕が目に入りました。第一回大会からプロコン入賞という伝統が継承され続けていることを誇らしく思いました。

本校は昭和四十五年に全国に先駆けて情報処理教育を推進し、翌年に情報処理科を設置しました。その時に電算部が誕生しております。昭和五十五年に全国商業高等学校協会のプロコンが創設された時から毎年応募して、四十年連続入賞という破られることがない連続記録を継続

しております。さらに五十年、六十年と継承され、「プロコンの一商」が不滅であることを祈念しております。

また、当時担任をしていた生徒たちが本校に勤務し、担任として活躍している姿を見ることができ、頼もしい限りです。

さて、新年度は新型コロナウイルスの感染が拡大する中で迎えることになりましたが、四月六日に始業式を行い、在校生の元気な姿を見ることができて安心しました。翌日の入学式は例年より式の内容を縮小しての実施となりましたが、一六三名の新入生を保護者同伴のもとに迎えることができました。

六月一日からは分散登校が始まり、段階を追って授業が再開されております。同十五日からは部活動も再開されて、通常の教育活動に向かっております。

本校は平成三十年四月に文部科学省からスーパー・プロフェッショナル・ハイスクール（SPH）の指定を受けており、『高校生版DMO』の活動を核とした地域観光ビジネス教育プログラムの開発」の研究を続けております。今年度は三年間の事業の最終年となりますので、研究成果発表会に向けて生徒・職員が一丸となって取り組んで参ります。

そして、創立百周年に向けて歩んで参りますので、同窓会の皆様には、今後とも引き続き、ご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



御礼の挨拶



前校長

わたなべ 渡部 清

この三月末をもちまして、無事退職しました。同窓会の皆様には、日頃より一宮商業の教育活動に御支援と御理解をいただき、心から御礼申し上げます。

教諭（十年）・教頭（三年）・校長（二年）の十五年間にわたり、お世話になりました。本当に感謝申し上げます。母校でもない私が、そんなに長く勤めることができ、深い縁を感じます。

この二年間では、平成三十年に文部科学省よりスーパープロフェッショナルハイスクール（SPH）の指定を三年間受けることができました。県立高校では珍しい校内wifiを設置することができ、すべての教科でタブレットを使った個別学習やグループ学習を展開することができるようになりました。授業を見ていても生徒の学びの意欲が強くなったように感じられました。これからは学業においても、益々伸びていくものと確信しております。

令和七年には、創立百周年を迎えることとなります。私は退職し、微力ではありますが、一宮商業の一応援団員として、陰ながら協力していきたいと思っております。同窓会の益々の御発展と同窓会の皆様の御健勝を祈念し、挨拶と致します。

コロナウイルスによる臨時休校自粛時の生徒への対応

2020年冬より被害報告が始まったコロナウイルスの流行により、日本全体が自粛を行うこととなりました。母校に

於いても他校と同様に生徒達は、休校措置、分散登校、入学式卒業式の縮小開催、春・夏期の部活動の練習禁止とインターハイ等の大会中止があり、これまで経験したことがない大きな影響を受けました。しかし、現在は自粛も解除され、少しずつ自粛前の学校に戻りつつあります。

令和元年度	
2月28日(金)	千葉県教育委員会より年度末までの臨時休校の連絡
3月2日(月) から	生徒臨時休業開始 部活動停止 2・3年生学年末考査行わず
3月7日(土)	令和元年度卒業式を縮小開催 (参加者 3学年生徒、3学年保護者、学校職員)
3月26日(木)	千葉県高校野球連盟 春季千葉県高等学校野球大会の中止決定
3月末まで	登校時に通知表手渡し、令和元年度修了
令和2年度	
4月1日(水)	臨時休校をゴールデンウィーク過ぎまで延長
4月2日(木)	千葉県高校体育連盟 関東高校大会県予選中止決定
4月6日(月)	始業式(2・3年生) 今後の日程説明 2・3年生 4月7日から5月末まで臨時休業 中間考査行わず、自宅学習用課題送付
4月7日(火)	令和2年度入学式を縮小開催 (参加者 1学年生徒、1学年保護者、学校職員) 1年生 4月8日から5月末まで臨時休業
4月17日(金)	千葉県高校体育連盟 夏期千葉県総体中止決定
5月7日(木)	5月末まで休校延長 自宅用課題1週間ごとに送付
5月22日(金)	千葉県高校野球連盟 全国高等学校野球選手権千葉大会中止決定 千葉県 自粛解除
5月27日(水) 28日(木)	クラス10名程度の分散登校 1時間程度のホームルームを実施 6月以降の日程説明、政府支給マスクを生徒各1枚配布
6月1日(月)より2週間	クラス20名程度の分散登校 短縮日課による3限授業、朝健康チェック実施
6月15日(月)より	全員登校 短縮日課による6時間授業 部活動再開
7月31日(金)	1学期 終業式

定期総会のご案内

一宮商業高等学校同窓会会長 白井 和

下記のとおり定期総会を開催します。

記

日時 2021年6月19日(土) 15時より

場所 母校会議室

議題 2020年度事業及び決算報告
2021年度事業及び予算について

※ 総会終了後、懇親会を開催します。(会費5,000円)
当日、校舎を背景に集合写真を撮影します。

令和元年度の役員について次のとおり提案いたします。(任期 令和元年度～令和3年度)

同窓会役員(監査以上)

役職	氏名	備考	卒業年	役職	氏名	備考	卒業年
顧問	渡邊 英光	元会長	S30.3	会長	白井 和		S35.3
顧問	金子 健一	元衆議院議員	S51.3	副会長	山口 精一		S39.3
顧問	古市 義策	前会長	S38.3	副会長	石川 正	茂原支部長	S41.3
顧問	常世田信幸	校長		副会長	海老根正明		S52.3
相談役	長谷川 正	元東京支部長	S31.3	副会長	吉野 昇	長生支部長	S44.3
相談役	三枝恵美子	元副会長	S37.3	副会長	酒巻 隆夫	首都圏支部長	S44.3
相談役	米倉 重作	元千葉支部長	S32.3	副会長	高瀬 利之	夷隅支部長	S42.3
相談役	君塚 泰三	元夷隅支部長	S38.3	会計	山田 八郎		S49.3
相談役	鶴岡 良二	元副会長	S42.3	会計	佐久間 実		S50.3
相談役	田中 薫	元校長	S51.3	監査	土屋 芳廣		S46.3
相談役	石川 省三	元首都圏支部長	S37.3	監査	岡部 昌夫		S52.3

令和2年度一宮商業高等学校同窓会事業計画

令和2年度一宮商業高等学校同窓会事業について次のとおり提案いたします。

令和2年6月20日

月	日	事業内容
4	7	入学式 入学許可163名(商業科・情報処理科)
5	22	新会員に対して、総会案内はがき発送
6	5	第1回編集委員会 【文書送付による原稿依頼】
	12	令和元年度会計監査 【書面による審査・監査】 常任幹事会・幹事会 【延期・文書送付による実施】
5	9	長生支部総会(一宮館) 【中止】
	19	同窓会ゴルフコンペ 於：一宮カントリークラブ 【中止】
8	20	定期総会 母校会議室 【書面決議】
	末	同窓会報「松濤」44号 発行 株式会社サラト
		首都圏支部総会(首都圏観光)
3	5	同窓会入会式
	31	卒業証書授与式(商業科 第73回 情報処理科 第48回) 令和2年度決算書・事業報告書作成 3月末日付け作成 令和3年度予算案・事業計画案作成

他 IT委員会 編集委員会 関東以上大会出場に報奨金

令和元年度一宮商業高等学校同窓会事業報告

令和元年度一宮商業高等学校同窓会事業について次のとおり報告いたします。

令和2年6月20日

月	日	事業内容
4	9	入学式 入学許可162名(商業科・情報処理科)
5	9	平成30年度会計監査
	18	第1回編集委員会 於：母校応接室 常任幹事会・幹事会 於：母校会議室
6	28	新会員に対して、総会案内はがき発送
	8	長生支部総会(一宮館)
	14	同窓会ゴルフコンペ 於：一宮カントリークラブ
8	15	定期総会 母校会議室
	4	長生支部総会(一宮海岸)
10	末	同窓会報「松濤」43号 発行 株式会社サラト
	6	首都圏支部総会予定日(高尾山) ※台風により延期
11	19	夷隅支部総会(ふじよし)
	25	茂原支部総会予定日(大和屋旅館) ※台風により延期
12	28	茂原支部総会(大和屋旅館)
	19	同窓会講話(白井会長 母校体育館 在校生対象)
3	2	23 首都圏支部総会(韻松亭)
	6	同窓会入会式
7	7	卒業証書授与式(商業科 第72回 情報処理科 第47回)
	31	令和元年度決算書・事業報告書作成 令和2年度予算案・事業計画案作成
月 日		報奨金関係
7	28	電算部 全商情報処理競技大会
9	14	全商商業教育研究発表大会
10	4	男子バスケ 古川大樹 国民体育大会

令和2年度 同窓会賛助金一覧

金額	氏名(順不同)	
50,000円	白井 和	
20,000円	三枝恵美子	寺嶋 和平
10,000円	渡邊 英光	土屋 貫治 古市 義策 花澤 道子 正林 宏平
8,000円	山本 儀久	森 静枝 土屋 征雄 岩瀬 誠之
5,000円	室井 力	
3,000円	相 博	金綱 久夫 吉田美津枝 加藤 精三 小安 和夫 米倉 重作 齋藤 信夫 今井 春夫 柄 喜美子
	山根 和弘	中村與志男 矢部 禮三 石川 省三 嶋野 定夫 高原 滋之 正木 清 山口 精一 栄喜 良子
	吉野 昇	板倉 庫二 滝口 諭 土屋 芳廣 海老根正明 岡部 昌夫 古山 義久 莊司 秀之
2,000円	鶴岡 良二	鈴木由美子
1,000円	秦 俊一	加藤 キミ 吉田 利男 岩佐 俊雄 岸 みよ子 田中 允 野村 進 諸岡 勝 山田 八郎
	向後 孝憲	山田 一寿 山田 祐大 丸 ゆう子

IT委員会報告

IT委員長 久我 昌文(昭和58年度卒業)

二〇一九年度の同窓会ホームページでは、総会や各支部、OB会の活動状況とともに母校のイベントをいくつか掲載しました。現在の在校生たちが元気に活躍する姿に、往年のご自身を重ねて、懐かしく想う方もいらっしゃるのではないでしょうか。情報、写真をご提供いただいた父兄ならびにOB・諸先輩の方々に厚く御礼を申し上げます。なお、情報提供いただきましたながら、HPへの掲載が、時に遅れてしまいました。さて、昨年度は千葉県を襲った台風十五号および十九号に集中豪雨、さらに新型コロナウイルス感染症対策における緊急事態宣言と立て続けに大規模な災害に見舞われ、その傷跡は未だ癒えずに、感染症対策についてはこれからさらに長期化するところでしょう。母校、同窓会の運営、行事も大きな影響を受けて、今後の活動のあり方も変わっていかざるを得ないように思います。それは、現在、国が対処できないことを、企業や地域が独自に背負いつつあることで、これは急速な地域分散型社会への移行を促すものなのかもしれません。しかし、根源の対策ができていないまま、移行が進んでしまうと、社会の分断や、医療や収入の格差、差別がより激しくなる恐れがあるでしょう。根源の対策とは、感染症で言えば、発生した地域で、発生元を突き止めて、隔離して治療することでしょう。これら以上に、情報を精査して、状況を的確に把握する個々人の判断、冷静さが、より重要な時代になったと言えるかもしれません。伊勢物語の最終段「こちしぬべくおぼえければつひにゆくみちとはかねてききしかどきのふけふとはおもはざりしを」は、ひじよにまじい歌だ、かねてそう思っているのに、これまでと同様に、行先は何がありがたいかなどまったくわからないので、今この時を明るく、より佳くしていきたいものです。同窓会HPでの情報発信が、同窓生の皆様にとつて、その一助になれば幸いです。

令和元年度 一宮商業高等学校同窓会 収支決算書

積立金(定期預金報告)	
1.平成30年度未積立総額	10,800,000円
2.令和元年度積立額	300,000円
3.積立金取り崩し	0円
4.積立金合計額	11,100,000円
定期預金内訳	
①千葉銀行一宮支店	1,100,000円
②房総信用組合一宮支店	10,000,000円

令和元年度一宮商業高等学校同窓会収支決算について次の通り報告します。

令和2年7月4日

◎収入の部

自 平成31年4月1日 至 令和2年3月31日

科目	予算額	補正額	計	収入済額	増減	附記
1.入会金	1,106,000	0	1,106,000	1,105,120	▲ 880	令和元年度卒業生158名×7,000円 振込手数料880円
2.維持会費	860,000	0	860,000	776,773	▲ 83,227	維持会費
3.賛助金	280,000	0	280,000	243,746	▲ 36,254	賛助金
4.預金利息	1,000	0	1,000	925	▲ 75	普通・定期預金利息
5.雑収入	1,000	0	1,000	0	▲ 1,000	
6.繰越金	1,633,850	0	1,633,850	1,633,850	0	前年度より繰越金
計	3,881,850	0	3,881,850	3,760,414	▲ 121,436	

◎支出の部

科目	予算額	流用・増資額	計	支出済額	増減	附記
1.総会費	100,000	0	100,000	15,964	84,036	総会飲物代
2.会議費	150,000	0	150,000	61,122	88,878	会計監査費、役員会飲物代
3.接待費	100,000	0	100,000	40,000	60,000	母校職員歓送迎会寸志
4.旅費	20,000	0	20,000	0	20,000	
5.通信費	90,000	0	90,000	43,870	46,130	総会案内(切手、葉書代)、振込手数料
6.業務委託費	800,000	0	800,000	738,328	61,672	松濤発行代行業務委託費
7.消耗品費	3,000	0	3,000	0	3,000	
8.負担金	41,000	0	41,000	41,000	0	母校職員転退職者の餞別(16名分)
9.補助金	400,000	0	400,000	260,291	139,709	母校生徒会援助、関東大会・全国大会出場激励金、横断幕
10.事業費	300,000	0	300,000	225,460	74,540	卒業証書ホルダー、同窓会ホームページ継続費
11.事務費	50,000	0	50,000	0	50,000	
12.積立金	300,000	0	300,000	300,000	0	定期預金積立
13.支部費	240,000	0	240,000	240,000	0	首都圏支部、茂原支部、夷隅支部、長生支部 1団体あたり 60,000円
14.雑費	50,000	0	50,000	16,740	33,260	慶弔費
15.予備費	1,237,850	0	1,237,850	0	1,237,850	
16.繰越金	0	0	0	1,777,639	▲ 1,777,639	
計	3,881,850	0	3,881,850	3,760,414	121,436	

監査報告 令和元年度同窓会会計を監査した結果、帳簿及び証憑類ともに正確に処理され適正であることを認めます。 令和2年7月4日
一宮商業高等学校同窓会長 様 一宮商業高等学校同窓会 監査 土屋 芳廣 監査 海老根正明

支部報告

長生支部だより

長生支部・支部長 吉野 昇 (昭和43年度卒)

2020年の今年は、4年に一度のオリンピック競技が東京で開催される記念の年になるはずでした。春先から突然の「新型コロナウイルス」と言う恐ろしい伝染病が発生し、世界に脅威と不安をもたらしました。

こんな事態にならなければオリンピック新種目のサーフィン競技が、我が町の東浪見海岸の釣ヶ崎が開催会場でした。世界中のトップクラスの選手、その家族、また、地元一宮町出身の期待の選手も候補に上がっていて、世界中が盛り上がっていたことでしょう。この大会には母校生徒が、海岸の砂浜に埋まっている、小さなプラゴミヤ、大会のイベントにも大きく関わってりました。

令和2年度 一宮商業高等学校同窓会 収支予算書(案)

令和2年度一宮商業高等学校同窓会収支予算について次の通り提案します。

令和2年7月4日

◎収入の部

自 令和2年4月1日 至 令和3年3月31日

科目	予算額	前年度予算額	増減	附記
1.入会金	1,099,000	1,106,000	▲ 7,000	令和2年度卒業生157名×7,000円
2.維持会費	780,000	860,000	▲ 80,000	維持会費
3.賛助金	250,000	280,000	▲ 30,000	賛助金
4.預金利息	1,000	1,000	0	普通・定期預金利息
5.雑収入	1,000	1,000	0	
6.繰越金	1,777,639	1,633,850	▲ 143,789	前年度より繰越金
計	3,908,639	3,881,850	▲ 26,789	

◎支出の部

科目	予算額	前年度予算額	増減	附記
1.総会費	100,000	100,000	0	総会飲物代
2.会議費	150,000	150,000	0	会計監査費、役員会飲物代
3.接待費	100,000	100,000	0	母校職員歓送迎会寸志
4.旅費	20,000	20,000	0	役員旅費
5.通信費	90,000	90,000	0	総会案内(切手、葉書代)、振込手数料
6.業務委託費	800,000	800,000	0	松濤発行代行業務委託費
7.消耗品費	3,000	3,000	0	事務用消耗品代
8.負担金	43,000	41,000	2,000	母校職員転退職餞別
9.補助金	400,000	400,000	0	母校生徒会補助、横断幕、関東大会・全国大会出場援助金
10.事業費	300,000	300,000	0	卒業証書ホルダー、同窓会ホームページ継続費
11.事務費	50,000	50,000	0	封筒作成費
12.積立金	300,000	300,000	0	定期預金積立
13.支部費	240,000	240,000	0	支部活動費 4支部×60,000円
14.雑費	50,000	50,000	0	慶弔費
15.予備費	1,262,639	1,237,850	24,789	
計	3,908,639	3,881,850	26,789	

令和2年度 同窓会ゴルフ大会について

今年度は、コロナウイルスの影響により、他の同時期に実施予定であった行事と同様、中止の運びとなりました。例年多くの皆様に参加頂いている大会ですので、次年度は今年度の中止分もあわせて大規模な大会を開催したいと考えております。多くの皆様に参加頂きたいこと、周囲の方で興味をお持ちの方々がおられましたらお誘いのお声がけもよろしくお願ひいたします。各学年でのWコンペなどの企画も大歓迎です。体調面をくれぐれもご自愛ください。

来年度の総会が6月19日土曜日です。前日の18日金曜日に一宮CCです。

幹事 吉野 昇

(昭和44年3月卒)

今年度は残念ながら中止となりましたが、1年間の延期となりましたのがせめてもの救いとなりました。

さて、このコロナウイルス騒ぎで長生支部の行事は全てが中止となってしまいました。現在の支部会員は主に、一宮町、睦沢町、白子町、長生村の卒業生が中心となって活動しております。

年間行事で特に盛り上がるのは、一宮海岸で行う「観光地曳綱大会」です。毎年8月の第1日曜日に開催しておりますので、来年を楽しみにして下さい。

終わりにこの「松濤」をご覧になって、新しい会員が増えることを、期待いたします。

宜しくお願ひいたします。

■ 茂原支部だより

茂原支部・支部長 石川 正 (昭和40年度卒)

昨年のは台風や豪雨による災害や今回のコロナウイルスの蔓延で大変な毎日をお過ごしのことと存じます。健康に十分ご留意ください。

さて、昨年度の総会(役員改選)で支部長を仰せつかりました長南町在住の石川正と申します。白井和同窓会長(前茂原支部長)様からのバトンタッチでありますが、従前のようにうまく運営できませんが不安もあります。皆様のご協力をいただきながら進めて参りたいと思っております。宜しくお願ひいたします。

一宮商業高校在職中、同窓会事務局を担当し、当時の土橋会長様(故)はじめ多くの皆様にお世話になりました。

それまで同窓会とは無縁の存在でしたが、母校に勤務し、いざ担当すると今まで気づかなかった様々なことに触れ、同窓生と繋がりがいかに有益か痛感いたしました。

支部運営にあたり、諸先輩が考えた発会当初の目的をしっかりと考えながら諸行事に取り組みたいと思っております。支部の皆様と顔を合わせる機会には総会・役員会のみではありませんが、情報交換の場であり、懇親を深める場でもあります。企業に在職する皆様はじめ、各方面からの参加を願ひいたします。特に、長南および長柄地区からの参加や同期の方々の声かけによる参加も是非お願ひいたします。

目の前に迫った母校の100周年記念、支部としてできることは何か、皆さんと相談しながら進めて参りたいと思っております。母校があつたの同窓会です。同窓会があつたの茂原支部です。各支部の皆さんと連絡を取りながら学校・生徒を応援してゆ

きたいと思ひます。ご協力を宜しくお願ひいたします。

■ こんな時だからこそ、気持ち強く持って!

茂原支部・事務局長 岡部 昌夫(昭和51年度卒)

日頃より大変お世話になっております。茂原支部の岡部でございます。昨年の支部総会では「茂原豪雨災害」による急な日程変更にも関わらず、たくさんの方々にご出席頂きました。この紙面をお借り致しまして心より厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

その後の国内外環境の激変は、あえて申し上げるまでもなく、「新型コロナウイルス」の恐怖に怯える毎日が続いております。日本人ならではの「感染防止対策」を講じて、強力な特効薬がない現状では「地球規模での感染」を抑える事は不可能な現状です。国内においてはこの惨禍に追い打ちをかけるように「令和2年7月豪雨」が発生し、多数の尊い人命が失われ、今なお被災された方々は復旧作業に追われています。お亡くなりになられた皆様のご冥福を謹んでお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

このような現状を我々はどうしたらよいのでしょうか? これまでも様々な災いに対して乗り越えてきた人類ですが、現時点では今回のコロナ禍に打ち勝つ術が見当たりません。勿論、手をこまねいている訳ではなく、医療従事者の方々の断絶の努力により、感染防止を最小限に食い止めて頂いている一方で、感染症の専門家を始めとした研究者が、昼夜をたがわずワクチンの開発研究に取り組んでお

■ 茂原支部の金庫番

山田 八郎 (昭和48年度卒)

茂原支部規約会則によれば、支部創設は平成十年五月となっております。「一宮商同窓会茂原支部 会計 山田八郎」名義の口座の開設は、平成十一年九月のことでした。この若干の時間差は今となっては解明のすべがありません。が、通帳の管理は一貫して私が担当しております。

驚くことにこの通帳、平成十六年十一月まで引き出しの記録がありません。会社でも個人でも、一つは欲しい魔法の通帳。しかし、その裏にはちよつとした秘密が隠されています。

多くの会員の皆様にご出席いただいて盛会のうちに終了した支部総会、見送りの際に「酒が足りない!」とお叱りをいただくこともありました。皆さん笑顔で二次会へ向かわれていました。

当時は「飲み放題・フリードリンク」という方式はなく、会の終盤には、宴会場と帳場を何度も往復し、お酒の交渉をしたものです。限られた予算の中で「名味菘と女将さん」には大変お世話になり、また、ご配慮をいただきました。



令和2年度(第23回) 茂原支部総会 (予定)

【日 時】 令和2年10月23日(金)
午後6時30分より

【場 所】 大和屋旅館
電話：(0475)24-1185

【会 費】 女性：3,000円 男性：6,000円

【最寄駅】 JR外房線茂原駅
(会場までは、徒歩で10分程度)

コロナ禍により、開催の決定は8月末の予定

【問い合わせ先】
幹事長：岡部昌夫 ☎090-8963-1946

役員会でも、毎回残額を貯金できるように仕向けてくれる鬼(名)幹事長、故齋藤巨弘氏の存在です。氏の口癖は、「百万円貯めて、平安閣の大広間で、一宮商の卒業生なら誰でも無料で参加できる大宴会を開催する。」でした。

「幻の大宴会」の資金は、この年の母校創立八十周年記念事業への寄付金となりました。支部最初の「引き出し」金百万円は、当時の高村勇校長にお渡ししました。

現在は支部の役員会、他支部との交流、弔事などに支出しておりますが、支部伝統の「コッコツ貯める」精神は健在です。母校創立百周年に向けて精進して参ります。



■ 夷隅支部だより

夷隅支部：支部長 高瀬 利之 昭和42年度卒

日頃より、支部活動に対するご支援とご協力に深く感謝申し上げますと共に心より厚く御礼申し上げます。さて令和元年度夷隅支部総会を昨年の十月九日に実施致しました。

総会には、来賓として白井新同窓会長様、学校側より渡部校長・窪岡事務局長様、茂原支部より三枝副支部長・石川副支部長様方々の出席を頂きまして盛大に開催することができました。他の支部では、女性会員の参加も多く見られ、夷隅支部も他の支部と同じように参加できないかと努力してまいりました結果二名の方に参加して頂いて大変うれしく思いました。今後一人でも多くの方々に参加できるようにと思っております。さて活動に関しては、今年度も部活動参観や学校行事など、ふれあいの場を持ちながら活動する方向で考えておりましたが、四月・五月・六月と新型コロナウイルス感染症の拡大により、不要不急の外出を極力控えての生活を送ってこられたと思えます。学校は休校となり自宅待機しながら課題学習、日頃より頑張っている部活動や、体育的文化的行事や地域の行事など延期や中止となり、毎日どう生活をしたら良いのか困ったことと思えます。その間生徒はもちろん現場の先生方も大変だったと推察致します。六月一日より分散登校が開始され安心致しました。いずれは終息するとは思いますが、世の中の混乱とは関わりなく時は過ぎていきます。無駄な時間を過ごすことなく、日々の生活にメリハリをつけて生活して下さい。「志ある者は事竟に成る」と言う言葉があります。どんなむずかしいことでも「志」があれば

夷隅支部役員(監査以上)

役 職	氏 名	卒業年	備 考
顧問	江原 弘芳	昭和34年3月	いすみ市大原
顧問	鈴木 英男	昭和34年3月	いすみ市荻谷
顧問	君塚 泰三	昭和38年3月	いすみ市椎木
顧問	田中 國男	昭和38年3月	いすみ市荻原
顧問	古市 義策	昭和38年3月	いすみ市大原
顧問	土屋 征雄	昭和39年3月	いすみ市大原
相談役	土屋 元	昭和42年3月	勝浦市墨名
支部長	高瀬 利之	昭和42年3月	勝浦市河津
副支部長	森川 幸男	昭和41年3月	いすみ市荻谷
副支部長	實方 俊昭	昭和42年3月	いすみ市大原
副支部長・事務局	高梨 庸市	昭和54年3月	いすみ市若山
監 事	石井 敏夫	昭和42年3月	いすみ市深堀
監 事	滝口 諭	昭和45年3月	いすみ市大原

ばやり遂げることができると言えるのだと言意味です。「志」とは心の中に自覚された目標・目的です。目標を成し遂げようとする強い意欲のことです。志や目標を失うことなく、コロナウイルスに敗けないように力をあわせて学校生活をお過ごし下さい。

お知らせ

毎年実施しております夷隅支部総会ですが、検討を重ねた結果、新型コロナウイルス感染症の拡大は各地に深刻な状況が続いており、皆様の安全を最優先し、とりやめとなりましたことを報告させていただきます。ご理解くださいますようお願い申し上げます。



故 高島健一郎(昭和34年3月卒)さんのハーモニカで校歌斉唱しお開き(次回からは、録音となります...)

■ 首都圏支部だより

首都圏支部 支部長 酒巻 隆夫(昭和43年度卒)

拝啓 会員の皆様お変わりなく益々ご清栄にてご活躍のこととお慶び申し上げます。今年二月、首都圏支部総会と懇親会が開催され、遠近より会員の皆様にご出席頂き盛会裏に終えることが出来ありがとうございました。

総会で前石川支部長の後を受け、大役を仰せつかりました酒巻です。役員の方々はもちろんのこと、皆様のご支援・ご協力を得て同窓会発展に微力ながら尽力して参りますので、どうぞよろしくお願いたします。

さて、新型コロナウイルスに対応した新たな生活様式に慣れてきたとはいえ、不自由さを感じている毎日でございます。同窓会の皆様におかれましてはいかがが経過でしょうか。お仕事関係や身の回りで劇的な状況変化が起こり、苦境に立つておられる同窓生も多くいらっしゃるとは、心を痛めております。本年二月以降、感染者が国内に広がり様々なイベント、総会や懇親会が中止、延期を余儀なくされました。また、緊急事態宣言が五月二十五日に解除され、経済社会活動が感染状況などを見極めながら段階的に再開していますが第二波、第三波が心配され、その心構えも必要となっております。一宮商業高校でもご多分に漏れず、学校も休校になり、同窓会役員会・総会の延期、ゴルフコンペは中止と聞いております。

昨今、政治、経済、異常気象、新型コロナウイルスと混沌とした情勢の中、情報交換や親睦を兼ねて各地で催されている同期会やクラス会は益々重要になって来たと思われれます。首都圏支部も各地で

活躍されている会員のご支援により母校の創立百周年に向けて側面から支援が出来ればと思いを巡らしております。最後になりますが、会員の皆様の今後一層のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げますと同時に、同窓会の更なる発展に向けてご支援ならびにご協力をお願い申し上げます。敬具

■ 首都圏支部総会報告

首都圏支部 事務局長 吉田 理和(昭和54年度卒)

昨年の台風一五号、一九号、さらに長生都市を中心とする水害をもたらしました二一号に被災されました同窓生の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

さて、首都圏支部の総会ですが、昨年十月に高尾山にて開催の予定でした。しかし、度重なる台風の上陸で延期をせざるをえないこととなり、令和二年二月二三日に上野公園内で開催をいたしました。

急な日程変更にもかかわらず、二二名の参加を頂いて総会を開催することができました。来賓として、白井同窓会長様、窪岡先生、石川茂原支部長様、三枝様の



一宮商業高等学校同窓会首都圏支部役員

Table with 6 columns: 役員名, 氏名, 卒年, 郵便番号, 住所. Lists members including 顧問 金綱 久夫, 顧問 長谷川 正, etc.

首都圏支部役員

Table with 6 columns: 役員名, 氏名, 卒年, 郵便番号, 住所. Lists branch officers including 支部長 酒巻 隆夫, 副支部長 桑田 利武, etc.

出席を賜り、誠にありがとうございます。当日はJR御徒町駅に集合し、梅まつり開催中の湯島天神に参拝、上野公園を散策し総会会場であります創業一四〇年の料亭「韻松亭」にて総会を開催、石川支部長の挨拶に続き、支部の活動、会計報告、役員変更等の議案が承認、酒巻新支部長(四四年卒)から新役員を紹介、無事、総会が終了いたしました。終了後に韻松亭二階の大広間にて懇親会。地元池之端在

住の平山様(二六年卒)の乾杯でスタート、豆腐湯葉懐石に舌鼓を打ちながら思い出ばなしに花を咲かせ、和やかなうちに終了いたしましたことができました。参加して頂きました皆様に御礼を申し上げます。今年度から新しい役員が加わり、広範囲にわたる同窓生の皆様により多く参加して頂ける様茂原、長生、夷隅支部との連携を図りながら進めてまいります。今回の総会も是非皆様の参加をお待ちしております。

令和2年3月の職員の変動

令和元年度末の人事異動で、4名の先生方がご退職、10名の先生方がご転任されました。また、13名の先生方をお迎えしましたので、ここに紹介します。

(順不同)

Table with 4 columns: 氏名, 前役職・教科, 異動先. Rows include 渡部 清 (校長), 北根 克義 (事務長), 加藤真理子 (保健体育), etc.

Table with 4 columns: 氏名, 役職・教科, 前任校. Rows include 常世田信幸 (校長), 林 明彦 (事務長), 森口 孝広 (国語), etc.

古川大貴君

令和元年度 国民体育大会出場 (バスケットボール部)

令和元年十月四日から八日にかけて茨城県で行われた第七十四回国民体育大会の少年男子の部に古川大貴君(九十九里中出身 三年生)が二年生で出場しました。結果は初戦の二回戦で兵庫代表に勝利、続くベスト4を決定する準決勝で宮城代表と対戦し敗退しました。

出場した古川君の感想は、「国民体育大会で試合をしてみても、全国トップレベルと自分が持っている力の差を感じました。これからの練習で自分が経験できたことをチームのみんなに伝えていきたいと思えます。」と、言うことでした。

【成績】

いきいき茨城ゆめ国体二〇一九 バスケットボール少年男子

十月五日(土) 二回戦 対 兵庫代表

八十七 - 七十五

十月六日(日) 準々決勝 対 宮城代表

七十三 - 八十九

「平成25年度卒 同期会(同窓会)」を終えて

吉野 一平 (平成26年3月卒)

令和2年1月5日、ホテル一宮シーサイドオーツカに於いて、「平成25年度卒同期会(同窓会)」を開催いたしました。当日は同期生26名、恩師6名のご出席を頂き、開催の運びとなりました。開催にあたり、ご協力頂きました幹事の皆様、ホテル関係者様、同窓会事務局の先生方に深く御礼申し上げます。



2020年 東京オリンピックを記念し、私たちとしては初めての同期会を開催できたことを大変嬉しく思います。学校のある一宮町はサーフィンの会場にも選ばれました。オリンピックを通じて、「JAPAN」・「CHIBA」・「ICHINOMIYA」を世界中の人々に知ってもらえたらと思います。

年始の慌ただしい日取りではありませんでしたが、久々の再会に終始話が盛り上がりました。また、恩師の先生とも6年ぶりに再会することができ、学生時代の懐かしい話が止まらない様子でした。次回開催は5年後の2025年(令和7年)です。

編集後記

日本だけでなく世界各国に甚大な被害をもたらしているコロナウイルスの影響により、今年度の総会中止となりました。年に一度の総会開催を心待ちにしていた皆様には突然の変更中止で大変ご心配をおかけし申し訳ありませんでした。次年度は、例年通りの開催が出来るようになればと思います。

総会中止の代替策として、役員の方々のご協力を頂いての書面決議、一般会員の皆様については会報である「松濤」での報告という形式をとらせて頂きました。こういった形での実施は、過去の総会を振り返ってもあり得ないことだと思います。それどころか、昨今の今頃はこういった状況になっているとは思わず、オリンピックが一宮町で開催されており、華やかな会報をお届けするものと考えておりました。

ただ、こういった特殊な状況下で不謹慎かもしれませんが、人々が対面や移動を制限され、一堂に集まり議論を実施することが困難な状況で会員の皆様へ報告や繋がりを保つ手段方法として会報やホームページは大変有効であると気づく良い機会でした。ホームページにより各会の延期や中止をお知らせ出来、会報を発行出来たことは、これまでの積み重ねを継続させるために大変助けられました。これまで行なってきた手段を変更して実施しないということは、もうすぐ100周年を間近にしている団体として大きな判断であったと思います。今回の判断に許可、協力頂いた皆様に大変感謝いたします。

来年の実施に向けて大切なことは、会員の皆様がお元気に過ごせることだと思います。まだまだ予断を許さぬ状況下ですが、次年度の開催に向けてどうぞご愛顧ください。

事務局